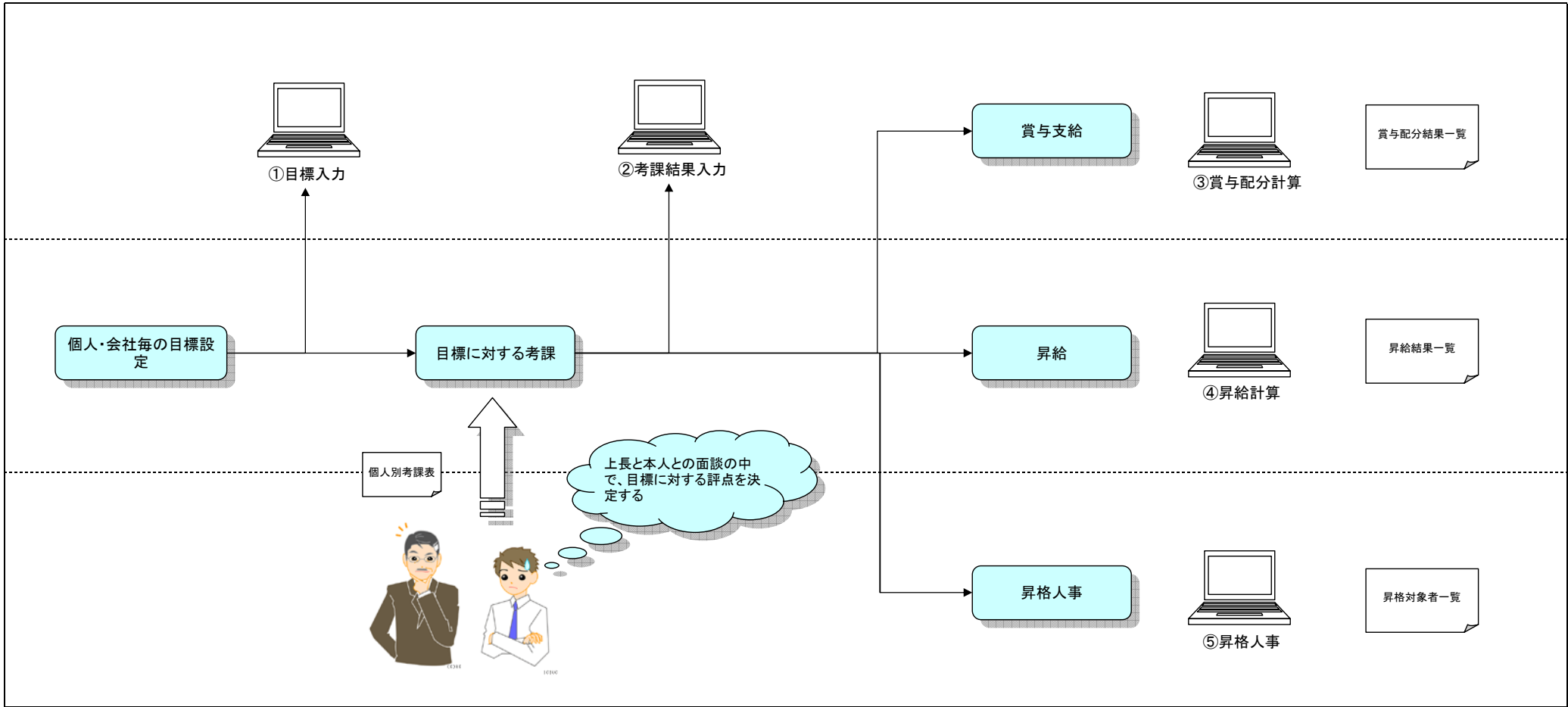


システムご説明資料	システム名	システム概要	作成者	(株)アドソフト	作成日	2010.05.06	1 / 1
	人事考課システム				更新日		
					更新日		



【備考】

- ①個人別に半期毎の目標を設定し、入力を行います。目標は個人目標(業績評定)と会社目標(行動評定)とに分類され、各項目にウェイトが設定できます。
- ②上長との面談により、各目標に対する評価値を5段階で決定し、入力を行います。
- ③入力された考課結果から、賞与配分を計算します。配分計算には考課結果が評点として利用され、賞与原資に対し、支給配分を計算します。※配分率を変更するなど何度もシミュレーション値として実行できます。
- ④入力された考課結果から、昇給金額を計算します。職能給を決定する個人毎の資格等級と号俸に対し、考課結果を利用し昇給幅を計算します。
- ⑤入力された考課結果から、一定の条件に合致する対象者を抽出し、昇格対象者とします。昇格対象者は職能給と連動し、資格等級の変更を決定します。※昇格対象条件は任意で設定できます。

目標設定

目標設定シート入力

処理年度: 2010年度 下期

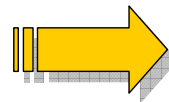
被考課者
 社員コード: 000005 一般職員 A 女 28 歳 2 等級 90 号棟
 所属コード: 0009 その他
 役職コード: 0099 一般

面接担当者
 第1面接者: 000003 管理職職員 A 面接年月日: ____年__月__日
 第2面接者: 000001 総合職職員 A 面接年月日: ____年__月__日

【職務目標】

No	目標設定項目	具体的課題・到達度等	ウェイト
1	日誌の記録	決められた場所に必要事項を記入できる時間やサインを忘れず記載	30
2	計画書の作成	意思的基本的方针に添ったリハビリ計画書を作成する	30
3	報告と指示受け	患者の訴えや症状を意思に正確に伝える	30
4			
5			
6			

保存(S) 取消(Q) 参照(V) 閉じる(C)



考課結果入力

考課表入力

処理年度: 2010年度 下期 行動基準書: 共通

被考課者
 社員コード: 000005 一般職員 A 女 28 歳 2 等級 90 号棟
 所属コード: 0009 その他
 役職コード: 0099 一般

考課担当者
 第1考課者: 000005 一般職員 A 考課年月日: ____年__月__日
 第2考課者: 000003 管理職職員 A 考課年月日: ____年__月__日

業績評価(A) 行動基準書

No	目標設定項目	具体的課題・到達度等	ウェイト	評価	評点
1	日誌の記録	決められた場所に必要事項を記入できる時間やサインを忘れず記載	30	B	30.0
2	計画書の作成	意思的基本的方针に添ったリハビリ計画書を作成する	30	C	15.0
3	報告と指示受け	患者の訴えや症状を意思に正確に伝える	40	A	60.0
4					
5					
6					
合計			100		105.0

保存(S) 取消(Q) 閉じる(C)

【備考】

- ①目標設定では、個人毎の各目標を設定し、それに対する評価ウェイトを設定します。
- ②考課結果は、個人毎の目標に対する考課結果と、会社全体としての共通事項に対する考課結果を5段階評価で入力し、ウェイトを考慮し、総合評点を決定します。
- ③業績評価と行動基準書についても、各資格等級ごとにウェイトを設定できます。※どちらを重視するかで評点を計算します。

賞与支給情報の設定

支給する賞与の指定を行ってください

賞与情報の設定 支給条件の設定

賞与情報の設定

支給年月(S): 2010 年 07 月

賞与名称(M): 2010年夏期賞与

考課時期の指定

処理年月(M): 2010 年

処理区分(S): 上期 下期

実行(E) 閉じる(C)

賞与支給条件の設定

支給する賞与の指定を行ってください

賞与情報の設定 支給条件の設定

支給対象者数: 9 業績配分1点当り単価: 0 この条件を既定の条件とする。

計算対象者: 7 総評価得点: 0.0

項目	総額	率	平均
賞与原資	10,000,000	541 %	1,111,111
計算対象外	1,000,000	10 %	500,000
計算対象	9,000,000	80 %	1,285,714
算定基礎額	1,865,100	100 %	0
業績配分	2,700,000	80 %	385,714
定率配分	6,300,000	70 %	900,000
定額配分	0	0 %	0

実行(E) 閉じる(C)

- 賞与原資 …… 賞与の支給総額
- 計算対象外 …… 考課対象外者への支給総額
- 計算対象 …… 考課対象者への支給総額
- 業績配分 …… 考課結果により支給配分する賞与総額
- 定率配分 …… 基本給の比率に応じて支給配分する賞与の総額
- 定額配分 …… 一定の金額を支給対象者の人数で配分する賞与の総額



総合評価記号ごとの評価点数を設定してください

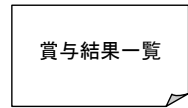
総合評価	総合評価の点数
総合S	120 点以上 120 点未満
総合A	100 点以上 100 点未満
総合B	80 点以上 80 点未満
総合C	60 点以上 60 点未満
総合D	40 点以上 40 点未満

実行(E) 閉じる(C)

評価ごとの配分点数を設定してください

評価	1階級	2階級	3階級	4階級	5階級	6階級
総合S	120	130	150	200	220	270
総合A	110	120	130	170	190	250
総合B	100	110	120	140	170	200
総合C	80	90	100	100	100	170
総合D	70	80	90	90	110	130

実行(E) 閉じる(C)



【備考】

- ① 賞与支給情報の設定では、支給する賞与の情報を登録します。ここで利用する考課結果の時期を設定します。
- ② 賞与支給条件の設定では、賞与原資に対し、どのような支給配分を行うかを設定します。各パーセンテージは任意に設定できますので、設定しなおすことで何度でもシミュレーションが可能です。
- ③ 業績配分の総額についてのみ考課結果が反映されます。※業績配分を重視する場合はこのパーセントを大きくします。
- ④ 定率配分および定額配分の総額については、考課結果を考慮しない配分計算を行います。
- ⑤ 配分計算は、各個人の考課結果の評点に応じて評点基準マスタに当てはめて、総合評点(総合S～総合Dまで)を決定します。※このマスタも任意に変更できます。※トップとボトムとの差の開きに影響します。
- ⑥ 総合評点より各個人資格等級に応じた賞与の配分点数を決定し、最終的にこの数値により業績配分を行います。

昇給年度の設定

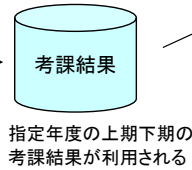
昇給指定

処理を行う昇給年度を指定してください

処理年度(年): 2010 年度

昇給する年度の指定を行ってください。

実行(E) 閉じる(C)



昇給結果設定

総合評価記号ごとの評価点数を設定してください

総合評価	総合評価の点数	
総合S	100点以上	100点未満
総合A	100点以上	100点未満
総合B	100点以上	100点未満
総合C	100点以上	100点未満
総合D	100点以上	100点未満

各等級の総合評価ごとに、評価点数の範囲を設定してください。設定された評価は人事考課にて利用しますので必ず設定してください。

保存(S) 閉じる(C)

昇給基準設定

等級及び等級ごとの昇給ピッチを設定してください

総合評価	昇給ピッチ
総合S	10
総合A	9
総合B	8
総合C	7
総合D	6

各等級の昇給時の総合評価ごとに、昇給ピッチを設定してください。昇給額の決定に利用しますので、必ず設定してください。

保存(S) 閉じる(C)

号俸の幅が考課結果により決定される

昇給結果一覧

【本システムでの基本給について】

本システムでの基本給は、以下の構成が前提となっております。

年齢給	}	年齢により決定され、考課結果に関わらず毎年無条件で昇給を行う。
勤続給		勤続年数により決定され、考課結果に関わらず毎年無条件で昇給を行う。
職能給		資格等級と号俸により決定され、考課結果が昇給時に反映される。(号俸のみアップする)

年齢給 + 勤続給 + 職能給 = 基本給

【備考】

- ①昇給年度の設定で、対象となる考課結果を指定します。
- ②昇給計算は、各個人の考課結果の評点に応じて評点基準マスタに当てはめて、総合評点(総合S～総合Dまで)を決定します。※このマスタも任意に変更できます。※トップとボトムとの差の開きに影響します。
- ③総合評点より各等級ごとにアップさせる号俸のピッチをマスタより判定し、昇給後の号俸に反映させます。
- ④昇給後の資格等級および号俸により昇給金額を決定します。

昇格年度の設定

昇格指定

処理を行う年度と等級を指定してください

処理年度 (年) | 2010 | 年度

上記条件に従い、昇格を行う等級を選択してください

実行 (E) | 閉じる (C)



評価基準

総合評価記号ごとの評価点数を設定してください

総合評価	総合評価の点数	
総合B	100点以上	
総合A	100点以上	100点未満
総合B	80点以上	100点未満
総合C	60点以上	80点未満
総合D	40点以上	60点未満

5段階の総合評価ごとに、評価点数の範囲を設定してください。設定された評価は人事考課にて利用しますので必ず設定してください

保存 (S) | 閉じる (C)

昇格基準

等級ごとの昇格条件を設定してください

昇格等級	昇格条件		
6等級	前回の評価ランクが	昇格日	以上で過去 1 年間 昇格日
5等級	前回の評価ランクが	昇格日	以上で過去 1 年間 昇格日
4等級	前回の評価ランクが	昇格日	以上で過去 1 年間 昇格日
3等級	前回の評価ランクが	昇格日	以上で過去 1 年間 昇格日
2等級	前回の評価ランクが	昇格日	以上で過去 1 年間 昇格日

各等級における昇格条件を設定してください。設定された昇格条件が昇格対象となりますので、必ず設定してください

保存 (S) | 閉じる (C)

過去の考課結果をもとに、条件により資格等級が決定される

昇格結果一覧

【本システムでの昇格について】

本システムでの昇格とは、昇給が号俸の改定に対し、資格等級が改定されることを昇格とする

【備考】

- ①昇給年度の設定で、対象となる考課結果を指定します。
- ②昇格処理は、指定年度を基準として、昇格条件に該当する社員を抽出し、昇格対象者とする。
- ③本処理は、昇格対象者を抽出するのみで、昇格処理は行わない。あくまでもシミュレーション